



森林事務所前にて (中央が筆者)

【東濃森林管理署 神坂森林事務所】  
 首席森林官 北沢 伸之  
 神坂森林事務所は、岐阜県東部の中津川市、中山道の四十三番目の宿場である「馬籠宿」がある神坂地区に所在し、長野県境に接した賤母国有林、川上国有林及び湯舟沢国有林併せて約四、〇四〇畝、官行造林地、約一六畝を、森林官、森林技術員、行政専門員の三名で管理しています。



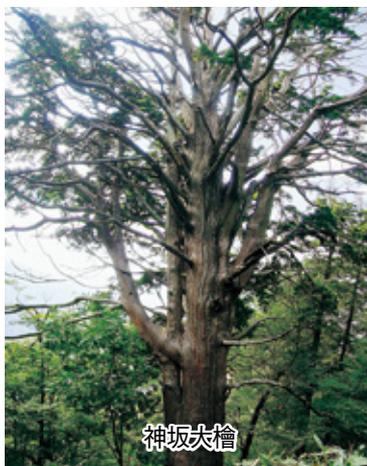
国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染がないと思います。  
 そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。

【湯舟沢国有林】  
 天然林が六割、人工林が四割で



龍神の滝

【賤母国有林】  
 九割が天然林で温・暖帯の接点に当たる箇所であり、五百種類以上もの多様な植物が生育していることから、賤母生物群集保護林に指定されています。  
 【川上国有林】  
 日本二百名山のひとつ奥三界岳や、一万五千本と言われる紅葉の名所「夕森公園」には、その昔、龍神の滝に住む白竜が突然姿を現し、天まで駆けあがったと同時に激しい雷雨が村を襲ったという「竜神伝説」の竜神神社もあります。  
 登山やキャンプに多くの方が訪れます。



神坂大檜

的な巨樹・巨木として「森の巨人たち百選」に選定された「神坂大檜」は、根元がササに覆われ神々しい雰囲気にも包まれており、長年の風雪に耐えてきた風格があります。



富士見台から見る恵那山

急峻な地形となつています。万葉集にも歌われている東山道の神坂峠や、富士見台、恵那山など、多くの登山者等で賑わっています。また、国有林の代表

■未来の担い手へのメッセージ  
 森林づくりは一つの技術だけでなく、広い視野で技術を積み重ね、経験として活かしていく奥深い仕事だと思っています。是非、森林・林業に興味を持っていただき、一緒に「森林づくり」をしていきましょう。

近年では、冷川の支流に取水口を設置した小水力発電所が建設され運用を開始しました。今後も国有林内の資源について、積極的に有効利用していきたいと考えています。  
 管内全域では、ここ数年二ホンジカが増加しており、食害による森林の破壊が危惧されていることから、地元猟友会の協力による有害鳥獣駆除や、センサーカメラによる生息調査を行うなど、獣害対策の取り組みも行っていきます。  
 昨年七月の豪雨により林地の崩壊や林道の決壊等の災害が発生しました。改めて災害に強い森林の重要性を認識したことから、災害に強い健全な森林づくりに取り組んでいく所存です。